

みさと自主防災報

「自分の命は 自分で守る」

「私たちの街は 私たちが守る」

令和元年12月13日

第23号

発行 三郷市自主防災組織連絡協議会
事務局 三郷市環境安全部危機管理防災課
〒341-0038
埼玉県三郷市中央5-45-4
TEL 048(952)1294
FAX 048(952)6780

ホームページ <http://www.jishubousaikai.com/>



令和元年度 三郷市総合防災訓練の様子

三郷市の自主防災組織率 (平成31年4月1日現在)

○対象団体数 (町会・自治会等の数) (みさと団地自治会は街区単位)	134団体
○自主防災会の数	129団体
○組織率 団体数	96.3%

※参考 (平成30年4月現在) 全 国 83.2%
埼玉県 90.4%

全国と比較すると、三郷市の自主防災組織率は高い水準を保持しており、活発に活動が行われています。

三郷市総合防災訓練

- 日時：令和元年10月6日 (日) 雨天決行
- 会場：栄中学校
- 訓練参加団体：23団体
- 参加者総数：約700名

◎訓練参加自主防災会

1. 栄1丁目町会
2. 中央2丁目町会
3. 栄3・4丁目町会
4. 新和1丁目町会
5. 新和2丁目町会
6. 新和3丁目町会
7. 新和4丁目町会
8. 新和5丁目町会



日頃の備えと早めの避難

三郷市自主防災組織連絡協議会 会長 中村智英

日頃より、市民の皆様におかれましては、地域の自主防災訓練などの行事へ積極的にご参加をいただき、誠にありがとうございます。

また、各自主防災会の役員や関係者のご尽力に感謝申し上げます。

当協議会は平成9年3月の設立以来、「自分の命は自分で守る、私たちの街は私たちが守る」をスローガンに、自助・共助の推進をしております。主な事業として、地域の防災リーダーを養成する「指導者養成講座」を行っており、現在では728名の指導者を輩出するに至りました。これは、歴代の役員、指導者ネットワーク、各町会等、関係者の皆様のご尽力による賜物であり、大変感謝しております。

さて、今年は台風が非常に猛威を振った一年となりました。9月の台風15号では千葉県の大規模な停電が連日報道され、復旧の遅れによる被害が課題となりました。また10月の台風19号では東日本の各地で河川の氾濫が起り、埼玉県内においても2河川が氾濫、約6,000の住家に被害がありました。三郷市においては大規模な被害こそありませんでしたが、これまでにない台風の勢力に皆様も恐怖を感じたことと思います。

台風のように予測できる災害の場合、日頃の備えと、早めの避難が重要です。まずは「ハザードマップ」で浸水想定と避難場所を確認しましょう。自宅の2階等で避難が済む場合は、必ずしも避難場所に行く必要はありません。また、避難場所に自力で避難することが難しい場合には、台風が接近する前に家族や近所の方に協力を依頼し、「自助・共助」で命を守る行動をとりましょう。

当協議会においても、自分の命と私たちの街を守るため、更なる地域防災力の向上に努めて参ります。引き続き皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

平成30年度(昨年度)の活動報告 (主要な行事)

- ①総会 (6月)
- ②自主防災訓練指導者養成講座
(6月・11月・2月 年3回開催)
- ③指導者ネットワーク全体会 (10月)
- ④ブロック情報交流会 (各ブロックにて開催)
- ⑤視察研修 (2月)
 - ・埼玉県防災学習センター そなーえ
 - ・グリコピア・イースト (グリコの工場見学)



指導者養成講座の様子

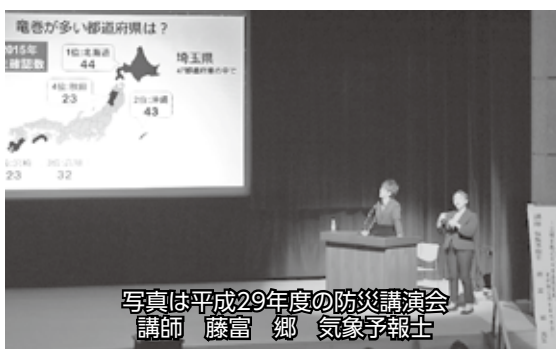
令和元年度防災講演会のご案内

日時 令和2年2月8日(土)
午後2時開演(講演60分)

場所 三郷市文化会館 小ホール

テーマ 被災後の生活再建について

講師 銀座パートナーズ法律事務所
岡本 正 弁護士
～被災後の生活再建について(仮題)～



写真は平成29年度の防災講演会
講師 藤富 郷 気象予報士

みさと防災トピックス

①視察研修のご報告

当協議会で、視察研修を実施しましたので、ご報告いたします。

視察研修は、防災に関する施設を視察することにより、各自主防災会の知見を高め、防災活動の一層の活性化を図ることを目的としています。

平成31年2月5日に、埼玉県防災学習センター「そなーえ」と「グリコピア・イースト」に赴きました。埼玉県防災学習センター「そなーえ」では、地震や暴風などの疑似体験を通して、災害の威力を体感することができました。



埼玉県防災学習センター そなーえにて

②令和元年度台風19号について ~いざという時、あなたの自主防災会は活動できますか?~

令和元年10月の台風19号は、東日本の広範囲に甚大な被害をもたらしました。三郷市では、台風の接近前から自主避難場所として5カ所の公共施設が開設され、多くの方が自主避難しました。周辺河川の水位は上がったものの、氾濫などの被害には至りませんでした。

高齢者や身体が不自由な方で、災害時に自力での避難が難しい方を「避難行動要支援者」と呼びます。いざというとき、自力での避難が難しい場合は近所の方、つまり所属する自主防災会に協力をお願いします。また、避難行動要支援者から協力を求められた場合は、自身の安全を確保した上で、可能な範囲で協力するようにしましょう。いざという時、「はじめまして」では頼みづらい、ということにならないよう、日ごろから防災訓練を始めとした地域の行事に参加し、「顔の見える関係」を作るようにしましょう。

	自主避難場所	合計(人)
①	瑞沼市民センター	102
②	彦成地区文化センター	96
③	青少年ホーム	100
④	鷹野文化センター	164
⑤	コミュニティセンター	99
	合計	561

☆☆ハザードマップを確認しましょう!☆☆

平成31年3月に水害ハザードマップが全戸配布されました。洪水・内水や氾濫に関する情報と避難方法などを確認することにより、日頃からの防災意識を高めるとともに、いざという時に、安全かつスムーズな避難ができるようにしましょう。



☆☆啓発用DVDの貸し出しについて☆☆

自主防災会の訓練等での閲覧用として、啓発用DVDの貸し出しを行っています。(下記は近年購入したもの)

- ・熊本・大阪北部大地震から学ぶ 災害の備え・点検を！ (上映時間 23分)
- ・まず命を守る備え 集合住宅・マンションの防災対策 (上映時間 22分)
- ・地域が主役 避難所の開設と運営のしかた (上映時間 24分)

自主防災組織訓練指導者ネットワーク

私たち「自主防災組織訓練指導者ネットワーク」(NW)は、各自主防災会が、自分たち自身で指導を行う「自主訓練」や、訓練を指導する人材を育てる「自主防災訓練指導者養成講座」での指導役を続けつつ、防災リーダーとして研修を重ねてまいりました。

研修の一環として、**令和元年10月27日(日)にNW全体会及び吹上小学校避難所開設訓練の事例発表を行いました。**



～指導者養成講座のお知らせ～

連絡協議会では、自主防災訓練指導者養成講座を開催しています。

家族の、地域の、頼れる防災リーダーになりませんか？ぜひご参加ください！

開催時期は毎年2月、6月、11月の年3回です。今回は令和2年2月23日です。

お申し込みは、各回約1か月前に募集いたしますので、ご所属の自主防災会(町会等)を通じてお申込みください。なお、通算3回受講することで修了となります。

指導者養成講座受講者数及び指導者ネットワーク会員数

指導者養成講座は平成16年の講座開設以来、大勢の方に受講していただいております。

令和元年11月10日現在

受講者数 延べ人数・・・2,597名
 修了者数・・・728名
 ※延べ人数は同一参加者の重複を含む
 指導者ネットワーク会員数・・・251名



転倒家具からの救出



応急救護訓練



避難訓練(煙体験ハウス)

三郷市自主防災組織連絡協議会役員(平成31年4月1日～)

【☆は今年度の新任役員】

会長 中村 智英
(彦成2丁目町会)

副会長 菊地 靖孝
(東町みなみ町会)

副会長 本間紀美男
(谷口北)

☆会計 小橋 恒夫
(みさと団地三街区)

幹事 岡田 豊
(みさと第二住宅)

幹事 木塚 正美
(さつき平1-4-2自治会)

幹事 佐々木 博
(戸ヶ崎3丁目上町会)

幹事 松浦 郁夫
(幸房上町会)

幹事 須田 茂治
(早稲田34・59町会)

☆幹事 前野 昭子
(タワーズⅡ自治会)

☆幹事 新野田 進
(戸ヶ崎4丁目町会)

☆幹事 佐藤 正男
(鷹野1丁目八木郷町会)

☆幹事 宮田 重義
(彦成5丁目町会)

監事 田中 豊作
(新和5丁目町会)

☆監事 津金澤成司
(アミティ三郷早稲田団地)